

○水生生物モニタリング調査結果一覧（猪苗代湖（北岸）I・猪苗代湖（南岸）J）

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
調査地点	○	○	○	○	○	○
J-1	○	○	○	○	○	○

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質				底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)			
J-1 (表層)	37.4203°	140.1008°	R2.7.3	14:20	15:00	21.0	20.5	砂	7.5Y 5/3	シジミ、水草	3.5	>3.5			
J-1 (下層)						20.7									

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
J-1 (表層)	37.4203°	140.1008°	R2.7.3	14:20	6.8	0.9	2.4	9.0	11.9	0.06	1.0	<1	0.9	N.D. (0.0014)	0.0052	—
J-1 (下層)					6.9	0.6	1.8	8.5	11.9	0.06	1.1	<1	0.7	N.D. (0.0013)	0.0050	0.00068

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
J-1	37.4203°	140.1008°	R2.7.3	15:00	7.3	377	24.8	1.4	4.7	2.727	2.2	1.3	54.0	40.9	1.6	0.28	9.5	7.2	110	0.18	

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
I-1 I-2 (北岸)	湖内 および 長瀬川	37.5047° 37.4995°	140.1143° 140.1409°	R2.6.12	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	10	1.8	成魚	不明消化物	内臓除去	19.91	0.91	19	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	4	2.0	成魚	不明消化物	内臓除去	12	N.D. (1.5)	12	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	1.0	成魚	不明消化物	内臓除去	1.8	N.D. (0.66)	1.8	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbuis</i>	ニゴイ	3	1.1	未成魚/成魚	不明消化物	内臓除去	36.5	2.5	34	—	
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Salvelinus leucomaenis</i>	イワナ	2	2.2	成魚	不明消化物	内臓除去	41.3	2.3	39	0.12	
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus mykiss</i>	ニジマス	1	0.88	成魚	ユスリカ類	内臓除去	20.1	1.1	19	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	タイワントジヨウ	<i>Channa argus</i>	カムルチー	1	1.1	未成魚	フナ属、魚類残渣	内臓除去	14.2	1.2	13	0.40	
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	<i>Silurus asotus</i>	ナマス	2	2.4	成魚	不明消化物	内臓除去	17.89	0.89	17	0.22	
				R2.7.1	粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.12	—	—	—	N.D.	N.D. (1.3)	N.D. (1.2)	—	
				R2.7.3	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン（浮遊藻類）	—	0.0085	—	—	—	—	N.D.	N.D. (3.9)	N.D. (3.4)	—
J-1 (南岸)	湖内 および 鬼沼周辺	37.4203°	140.1008°	R2.7.1	藻類・植物	双子葉植物	スレソ	スレソ	<i>Nuphar japonicum</i>	コウホネ	—	0.28	—	—	—	0.57	N.D. (0.23)	0.57	—	
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	1820	1.2	未成体/成体	—	—	6.3	N.D. (0.56)	6.3	0.80	
					軟体動物	腹足	原始紐舌	タニシ	<i>Cipangopaludina japonica</i>	オオタニシ	30	0.095	未成体/成体	—	軟体部	6.3	N.D. (0.65)	6.3	—	
					軟体動物	腹足	原始紐舌	タニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i>	マルタニシ	20	0.028	未成体/成体	—	軟体部	1.8	N.D. (1.7)	1.8	—	
					軟体動物	腹足	盤足目	カリナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワニナ	21	0.019	成体	—	軟体部	1.8	N.D. (2.0)	1.8	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	7	0.087	未成魚/成魚	—	—	8.6	N.D. (1.1)	8.6	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	22	0.031	未成魚/成魚	—	—	2.1	N.D. (2.0)	2.1	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ	48	0.11	未成魚	—	—	14	N.D. (2.2)	14	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius kurodai</i>	トウヨシノボリ	17	0.0082	未成魚/成魚	—	—	8.4	N.D. (3.6)	8.4	—	
					脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	158	0.075	幼生 (オタマシヤク)	—	—	20	N.D. (0.81)	20	—	
					脊椎動物	両生	無尾	ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>	ツチガエル	5	0.059	成体	—	—	N.D.	N.D. (1.1)	N.D. (1.2)	—	
					脊椎動物	両生	有尾	イサ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	アカハライモリ	23	0.12	成体	—	—	1.1	N.D. (0.51)	1.1	—	

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名で下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。